



鈴木 昌一 議員

# 市長の結果責任が問われている

**問** ジー・エム・ジー社（以下G M G社）との債務不存在確認訴訟の経過と見通しについて伺う。

**答** これまで3回の口頭弁論が開かれたが、そう遠くない時期に結審するものと見込んでいる。

**問** 本事業で本市が被った損害賠償請求訴訟も、同時並行して進めるべきだと考えるが。

**答** 弁護士と協議中であり、答弁は控えたい。

**問** 本市が被った損害とは、すなわち市民の損害だ。係争中の裁判の行方、弁護士との協議次第では、損害賠償請求を行わないといった判断もあり得るといふことか。

**答** 答弁は差し控える。

**問** 幾度となく指摘してきたが、土地売買仮契約時に通常通り契約

保証金を設定していれば、損害を最小限にとどめることができた。

**問** しかも、契約前にG M G社がブリヂストン社と係争中との情報を手に入れたにもかかわらず、リスクの回避を怠り、免除条項を撤回しなかったのは何故か。

**答** 事実経過としては遺憾に思っている。

**問** 係争情報入手後、契約成立前の段階で、担当課長が上京して直

接事情聴取している。

**問** 市長は、面談の結果報告を受けていたか。

**答** 当時は確認していない。

**問** 市の財産管理者として運用上適切さを欠いた結果責任について。

**答** 私の責任とは、企業立地をして雇用拡大を図っていくことだ。

## その他の質問

**1** 復興に向けた重点課題への対応

**2** 将来にわたる医療提供体制の再構築を

**3** 地域医療復興拠点と脳卒中センター整備

**質問を終えて**  
聴取した結果を担当者が復命（報告）を怠っていたら、服務規程に抵触した疑いも。



田中 一正 議員

# 本市農業の復興策は如何に

**問** 震災後、農業が休止していた4年間の空白は大きい。その空白を埋める市の復興策が見えないが。

**答** 農業再生ビジョンで市内農業者と意見交換し、今後の戦略的作物の啓蒙普及に当たる。

**問** 担い手の育成が一番の急務と思うが、組織をどう立ち上げるか。

**答** 植物工場を予定している。その施設を通して新たな若い力を育成する。稲作だけの経営では厳しいものがあり、今後は複合経営の中でしっかりとした経営理念を確立し、農業復興チャレンジ塾を通じて育成して行く。

**問** 稲作の作付け再開について伺う。

**答** 平成26年産、水稲の全袋検査では基準値

超えの米が生産されなかつたことを受け、20 km圏外を全戸生産出荷管理区域とした。

**問** 時期尚早と感じる。農業委員会、地域農業再生協議会、市議会も待ったをかけていた。国の言うとおりに認められたのか。

**答** 再生協議会の総会までに国も交えて2回意見交換をした。決議を国も重く受け止めているが、作りたいと言う気持ちも受け止めなければならぬ。

**問** 農家の高齢化、農機具の消耗等。作付け困難な農家が増えていくが今後の対応を伺う。

**答** 地域農業経営再開復興支援事業による経営再開マスタープランの策定を進め、担い手の選定と農地の集積を図っていく。

## その他の質問

**1** 窓口サービスの改善

**2** 再生可能エネルギーの利活用は

**3** 市民の安心安全対策

**質問を終えて**  
水稲作付け再開と言われても、作付け希望は予定した面積の40%。今後の復興は政治の責任。



農地除染作業中（原町区益田）



荒木千恵子 議員

# 地元で介護福祉士の育成を！

要と考える。双葉准看護学院の本市での再会について見解を伺う。

**問** 介護人材を確保するためには、地元での人材育成を並行して進めていく事が重要と考える。介護福祉士養成学科の新設について、市長の見解を伺う。

**答** 双葉郡の各町村長にもお願いしている。又、相馬地方全体でも准看が必要という立場で県に要請している。

## 保育士の処遇改善

**問** 嘱託職員も正社員同様、介護休暇、育児休暇、生理休暇を有給にする等の処遇改善が必要と考えるが。

**答** 市全般の嘱託職員

**答** 離職の理由は、子育てで、家族の介護、避難先の家族との同居等であるが、子育てや介護サービスの充実等に取り組みと共に、各介護施設への協力を求めていきたい。

## 看護職員の確保は

**問** 経済的支援と合わせ、地元での養成が必



4月から再開したあずま保育園（原町区）

処遇改善にかかる。人事部と協議していく。

## e-まちタクシー

**問** 高齢者等の足の確保は、切実。市民の声を把握すべきでは。

**答** 市民意向調査、実態調査を行い、公共交通の見直しを行う中で、デマンド型タクシーについても検討する。

**質問を終えて**  
介護・看護・保育の仕事の処遇改善の予算に反対する市民は、いないでしょう。

## その他の質問

- 1 介護職員の処遇改善制度の導入を
- 2 看護職員の就業可能な条件の解決策は
- 3 公立保育園等の正職員化計画は。



岡崎 義典 議員

# 旧警戒区域の工業団地整備は

**問** 小高区に工業団地を整備し、企業誘致を図る考えがあるか伺う。

**答** 現時点で小高区の工業団地整備の計画はないが、閉鎖撤退された企業の空き工場等の紹介、仲介も行い立地を進めている。

**問** 雇用が創出できなければ、帰還する方は長期に渡りかなり制限される。震災後2年目に大手の事業所が撤退していった。そして、それを引き留めることができなかった。思い切った規制緩和や税制措置で多くの企業に来ていただき、そこで働いていただく。小高スマートインターチェンジ設置と併せて真剣に考えなければならぬ。

**問** 交通安全計画の策定を市内の交通事故件

**問** 数が増加傾向にあることや、交通環境が大きく変化していることから交通安全計画を策定すべきと考えるが、市の考えを伺う。

**答** 交通事故防止が喫緊の課題。現在、市の交通安全基本計画を策定中であり、本市の交通環境の実情に応じた交通安全対策を進める。

**問** 待機児童問題は既に発生している平成27年度の待機児童への対応を伺う。

**答** ほとんどの課題の根底にあるのは人手不足。総合的な対策の推進に期待する。



27年度再開のあずま保育園

## その他の質問

- 1 パブリックコメントの在り方
- 2 産科・小児科医の確保
- 3 学校給食での地元農作物の導入は